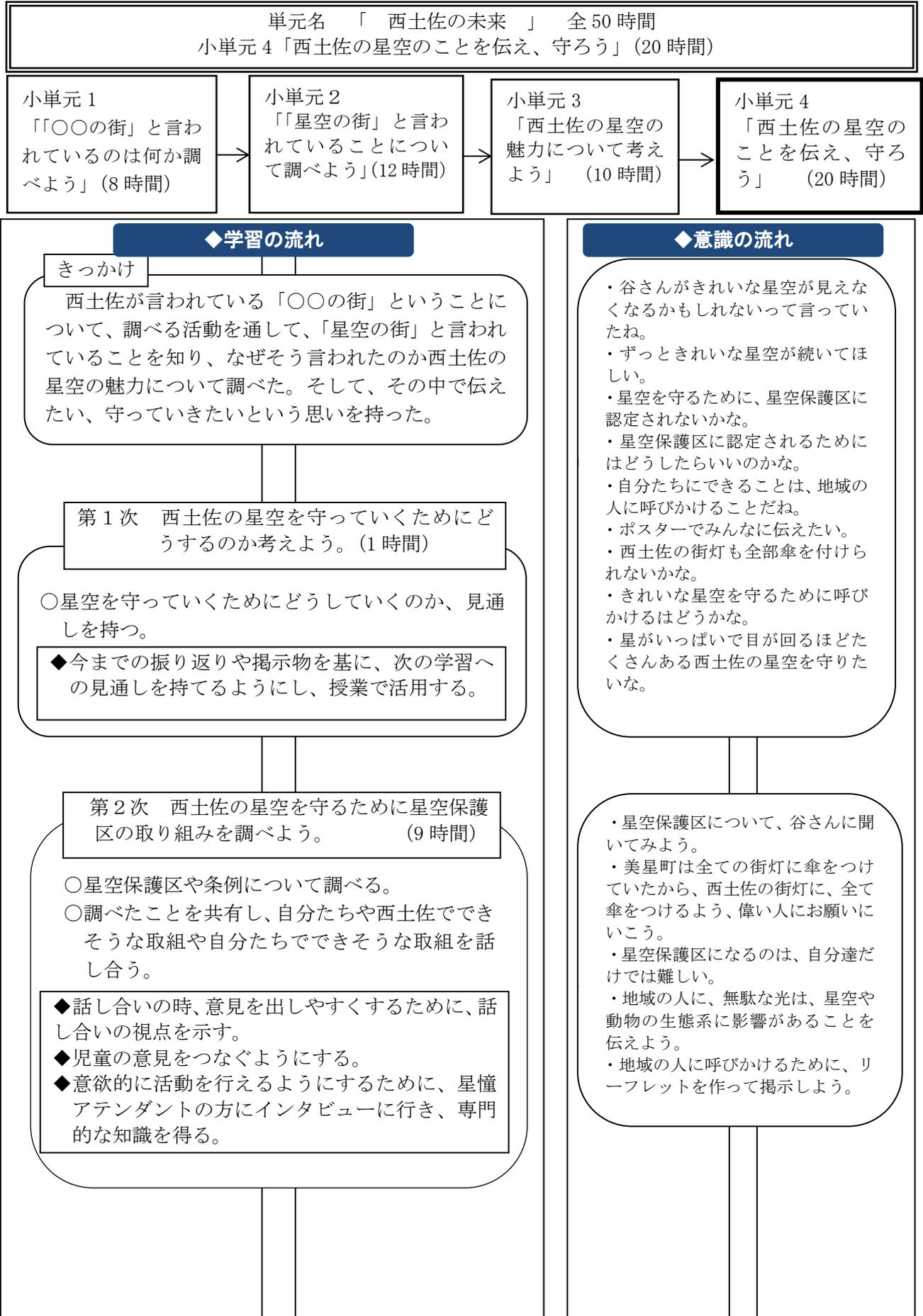
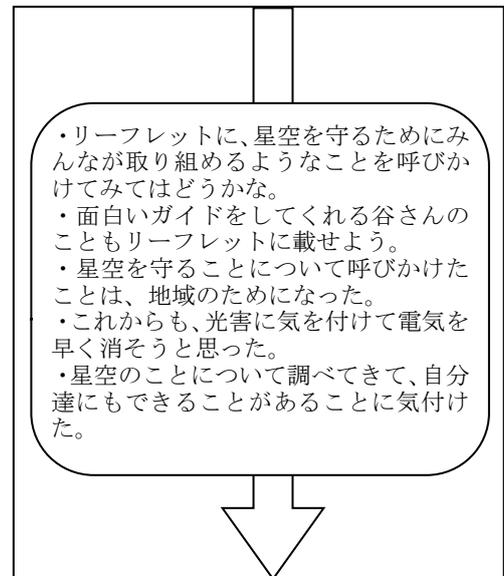
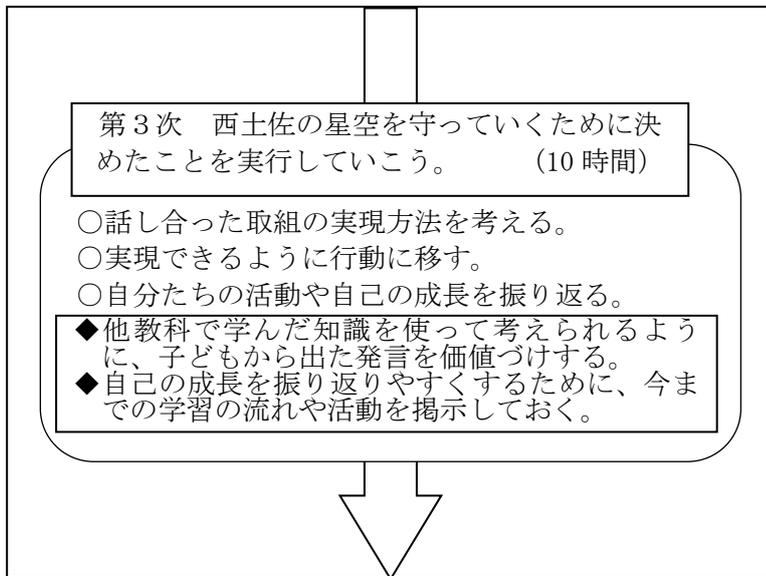


# 西土佐小学校 第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年2月16日(水) 第5校時  
 児童数 13名  
 指導者 谷口 由紀

## 1 単元構想図





**単元でつきたい力**

- ・西土佐の星空の魅力や星空の環境を守る取組を理解すること、またそこに携わる人の思いや願い、自分たちの生活につながっていることを理解する。【知識及び技能】
- ・西土佐の星空の魅力やよさ、存続させるための取組を伝えたい相手や目的、意図に応じて伝え方を工夫しながらまとめ表現する。【思考力、判断力、表現力等】
- ・異なる意見や、他者の意見を受け入れながら、自他のよさを生かし、他者と協働して探究活動に取り組もうとしている。【学びに向かう力、人間性等】

## 2 単元について

### ○単元観

四万十市西土佐は、愛媛県と高知県の県境に位置している。地域のほぼ中央にあたる江川崎地区には、西土佐総合支所や道の駅よって西土佐、スーパー等がある。さらに、最後の清流といわれる四万十川が流れており、豊かな山の恩恵を受けて川の生物も豊富である。そして、昭和62年に旧環境庁から高知県で唯一「星空の街」に認定されるほど、星空が美しい町である。また、ホテル星羅四万十には星懂アテンダントの方がいることや高知県でも数箇所しかない天文台がある。一方、電気量も少なく長持ちするよさから、西土佐でもLEDライトが普及している。夜道が明るくなったり、信号機では昼夜問わず見やすくなり事故を防いだりし、地域の安全を守ることができる。しかし、目的以外の方向に明かりが漏れることや必要ない時間まで明かりがついていることで、星空が見えなくなったり野生生物の生態系を壊したり、人の生活にも影響するなどの光害を起こしかねない。

本単元は、西土佐の星空を題材にしている。西土佐の子どもたちにとってきれいな星空は身近にありながら、地域の良さだと実感していない。星空を教材で扱うことで、新たに地域の良さを発見することができる。また、星空の魅力や光害のこと、自分たちの町のためにどんなことができるのかを考え、探究活動を行うことを通して、自分たちの生活が豊かになる反面、環境への影響もあることを理解し、もう一度自分たちの身の回りの生活を見直すことができる。そして、星空の魅力を知ることを通して、地域のよさを守ろう、大事にしよう、生まれ育った西土佐を誇りに思えるきっかけにしていける教材だと考える。

### ○児童観

本学級の児童は、5年生のときに西土佐の特産物について学んできた。そこでは、農家の方と触れ合うことを通して、農家の方の苦労や西土佐の特産物の魅力を実感してきた。そのことを劇にし、学習発表会等で地域の人に伝えた経験をしている。探究的な学習の過程を通して、情報収集の方法や調べたことをまとめる方法、課題を発見する力を身に付けている。

11月に行ったアンケートでは、「総合的な学習の時間は楽しい」肯定的な評価は、92.3%であり、総合的な学習の時間を楽しみながら一生懸命考えていることが分かる。しかし、「地域や社会を

よくするために何をしたらよいか考えている」肯定的な評価は、61.5%である。最も低い項目は、「地域の活動に参加するなど、地域とのつながりが増えた」7.7%である。そのことから、地域のために、積極的に関わりを持つことができていると考えられる。児童の中には、星空に興味を持っている児童もいる。反対に日頃から見慣れている星空の魅力に気付いている児童は少ない。また、「西土佐は不便だ。」「西土佐は魅力が少ない。」とつぶやいている児童も多く、ふるさとのよさを実感できていないと考えられる。

### ○指導観

小単元1では、西土佐が言われている「〇〇の街」とは何かを調べた。学校の先生にインタビューしたり図書館資料やパソコンで調べたりした。教職員の中には、西土佐出身の者もいるので、地域の方の意見として参考にした。調べて、共有する中で、「星空の街」として旧環境庁から認定されていたという事実に出会った。

小単元2では、「星空の街」と言われているのはなぜかについて情報を収集した。星憧アテンダントの方に話を聞きに行き、集めた情報から、どう思ったか、次どうしたいか話し合った。星憧アテンダントの方の話を聞き、西土佐のきれいな星空が失われるのは嫌だという思いを持った。

小単元3では、西土佐の星空の魅力について調べた。「星空の街」と言われているのは、3、4箇所だろうと予想していた児童は、108箇所もあったギャップから、そんなに多いのなら本当に自慢しているのかと言う不安を持った。そのことを話し合わせたり、星憧アテンダントの方に頂いた西土佐の星空の写真を活用したりして、もう一度星空のよさを再確認した。自分自身で見た星空と、写真で見た1年間変わらずたくさんの星が見られることを基に、西土佐の星空の魅力を伝えたい、守ってきたいという思いを持ち、光害についても調べ、誰にどのように伝えるのか話し合い、調べたことをまとめた。

小単元4では、星空の魅力を伝え、さらにどのように守っていくかを考え、実行していく。地域のよさの1つが失われないように、自分たちにはどんなことができるのか考えていく。星空保護区に認定されている地域の取組や光害防止条例のことを調べ、西土佐でできること、また、自分たちだけでできるのか、それとも誰かの協力が必要なのかを考えていく。小単元1の星憧アテンダントの方の話から、児童はLEDライトを減らしていけば西土佐のきれいな星空を守れるという考えを持っている。安易にLEDライトを減らすための方法を考えさせるのではなく、理科の「私たちの生活と電気」の学習から、LEDライトの良さも知り、星空環境を光害からも守り、LEDもよさも取り入れながら生活するためにはどうしたらいいのかを考えさせるようにしたい。星空保護区について調べる活動では、一度関わっている星憧アテンダントの方に詳しい話を聞きに行く活動を取り入れ、専門的な知識を知るとともに、地域の方と何度もかかわりを持つことで、地域の方とのつながりが持っていると実感させるようにしていきたい。さらに、自分たちが守ろうとする活動を実現させることで、地域の役に立てたと思えるようにしていきたい。単元の最後には、自己のよさや探究的な学びのよさに気付かせるために、単元を通して、児童が毎回書いている振り返りに価値づけをし、次時で活用することや普段の学びを記録して学習にいかし、活動と思考を連動させていく。また、学習してきた足跡を残していき視覚的に探究的な学習のサイクルがわかるようにしていく。

本時では、地域の星空のきれいさを守っていくために考えた取組の中で、リーフレットの表紙に使用したい言葉話し合う。前時までには内容や資料を決めている。導入で、リーフレットを作った自分たちの思いや伝えたい相手、体験の感想を振り返る。それから、表紙で使いたい言葉を個人で考え、たくさん出させる。グループで共有するとき、同じものはまとめさせ、全員で共有するときの数を絞る。その後、全員で「自分たちの目的に合っている」「読み手を引き付ける」の視点を基に話し合い、よりよい言葉を選ぶ。話し合いをする時に、今まで調べてきた西土佐の星空の魅力や星空保護区の取組のこと、星空見学会の体験等を関連させながら考えさせたい。そして、国語科の自分が用いている言葉の働きを客観的にとらえ、言葉がもつ働きを考える力も使いながら、友達の意見のよさも認め合い、よりよい言葉を選べられるようにしていきたい。

この星空の学習を通して、普段見慣れている星空の魅力を見つけるとともに、新たに見つけた西土佐のよさである星空を生涯自慢していける児童になってほしい。西土佐のよさはたくさんあることに気づき、地域を誇りに思い、大切にしていこうと思う児童を育てていきたい。

### 3 単元の目標

「星空の街」と言われていることや星空を守ろうとする取組を調べる活動を通して、西土佐の星空の魅力や、それをいかして町づくりをしている人の思いについて理解し、持続可能な視点から

星空の魅力を伝え守っていくことについて考えるとともに、星空と自分たちの生活のつながりを意識しながら行動したり生活したりすることができるようにする。

#### 4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
<p>①西土佐の星空の魅力を知るとともに、星空を保護する取組やそれらが自分たちの生活につながっていること、そこに携わる人の思いを理解する。</p> <p>②インタビューなどの調査活動を相手や場面に応じた方法で実施している。</p> <p>③西土佐の星空は地域のよさであることへの気付きや地域の人の活躍が分かることは、探究的に学習をしてきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①星空の魅力を広めたい、守っていききたいという思いから、課題を設定するとともに、課題解決に必要な調査方法を明確にしながら計画を立てている。</p> <p>②星空の魅力を広めたり守ったりするために必要な情報を、調査する対象に応じた方法を選びながら収集している。</p> <p>③星空の魅力を広めたり守ったりする活動を進めるために、事象を比較したり関連付けたりして理由や根拠を明らかにしながら考えている。</p> <p>④伝える相手や目的に応じて、表現方法の特徴に合わせて分かりやすくまとめている。</p>	<p>①探究的な活動を通して、西土佐の星空を守るために自分にできることに気付き、自分と異なる意見や考えを受け入れて、課題解決に向けて取り組もうとしている。</p> <p>②星空の魅力を広めたり守ったりすることを実行していくときに、自他のよさを生かしながら協働して解決に取り組もうとしている。</p> <p>③地域と関わっていく中で、地域の将来や問題を自分ごととして取り組もうとしている。</p>

#### 5 指導と評価の計画（全20時間 本時 12/20）

次	時	ねらい（○）と学習活動（・）	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一	1	<p>○西土佐の星空を守るためにどんなことをしていくか見通しを持つことができる。</p> <p>・星空のきれいさを守るためにどうしたらいいか話していたことを思い出し、見通しを持つ。</p>	①	①		<p>・発言</p> <p>・行動</p> <p>・振り返り</p>
二	2 ～ 10	<p>○他県の星空保護区の取組などを自分たちの目的に合った方法で調べることができる。</p> <p>・星空保護区や他県の取組等を調べる。</p> <p>○西土佐だけでしかできないこと、自分たちでできることを考えることができる。</p> <p>・調べたことを整理する。</p> <p>・西土佐しかできない取組や自分たちにできることを話し合う。</p> <p>・どんなことを伝えたいか相手は誰なのかを話し合う。</p>	① ②	②	③	<p>・発言</p> <p>・行動</p> <p>・振り返り</p>

三 ま と め ・ 表 現	11 〜 20	○自分たちでできる取組を実行するために、目的や相手に応じた内容を考えることができる。 ・リーフレットの内容、構成、資料、キャッチコピーを考える。(本時) ・星空の魅力や存続させたいことを誰にどのような方法で伝えるのか考える。 ・リーフレットを作製したり、プレゼンを相手に応じて作り直したりする。 ・どこに掲示するか話し合い、掲示してもらおう施設にお願いをしに行く。 ・自分たちの思いを伝えたい相手に行く。	④ ③	② ③ ③	・発言 ・行動 ・振り返り
		○1年間の学習を振り返り、自己の成長に気付くことができる。 ・1年間の取組を振り返る。 ・自己の成長を振り返る。	③ ③		

## 6 本時の指導

本時の目標	リーフレットで伝えたい思いや相手を引き付けるキャッチコピーに使いたい言葉を、吟味することができる。	
本時の評価規準	伝えたい思いや相手を引き付ける言葉を、今までの体験や経験、学習してきたことを基に、関連させながら理由付けして考え、話し合っている。【思】	
準備物	付箋、短冊	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	評価規準【評価方法】
1. 自分たちの思いや伝えたい相手、体験について振り返る。(3分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの思いは、「見た人が西土佐のきれいな星空の魅力を広げたい、守りたい」だね。</li> <li>学校の人や地域の人たちに、伝えたいね。・星空見学会では、ダイヤモンドみたいな星が見えたね。</li> <li>すごくきれいだった。</li> <li>表紙について話し合わないといけないね。</li> <li>どんなキャッチコピーにしようかな。</li> </ul>	
2. めあての確認をする。(2分)	「思いに合っている」「相手を引き付ける」キャッチコピーに使いたい言葉は、どんな言葉がいいのかな。	
3. 個人で考え、班で共有する。(7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ダイヤモンド」を使いたい。理由は、星空見学会のときに見た星がダイヤモンドみたいだったから。</li> <li>「満天」を使いたい。目がぐるぐるするくらい星があったから。</li> <li>「守ろう」を使いたい。西土佐の星を守っていきたいという思いがあるから。</li> <li>「ピカピカ」を入れたい。星空見学会で見たときの星がピカピカきれいだったから。</li> <li>「星空保護区」を使いたい。地域の人</li> </ul>	伝えたい思いや相手に合った言葉を、今までの体験や経験、学習してきたことを基に、関連させながら理由付けして考え、話し合っている。 【発言、振り返り】
4. 全員でピラミットチャートを使って共有していく。(25分)		

	にきれいな星空を継続的に守ってもらいたい。	
5. 本時の振り返りをする。(8分)	・リーフレットを完成させて、地域の人に伝えたい。	

## 7 板書計画

